



大垣～養老間 開通に向け着々と



大垣西IC付近松町の高架道から南を望む

岐阜・愛知・三重の東海3県を結ぶ「東海環状自動車道」。荒尾町・松町に位置する大垣西インターチェンジから養老ジャンクションまでの約5.7kmの区間はすでに高架橋でつながり、現在は仕上げの舗装工事などが行われ、ぎふ清流国体・大会前の開通を目指し、着実に工事が進められています。

また、開通を目前に控え、市内では記念事業として、7月にシンポジウム、8月にイベントが行われます。

開通記念イベント

8/25(土) 8:00~11:30
大垣西インターチェンジ周辺

開通記念シンポジウム

7/29(日) 13:00~15:30
情報工房5階スィンクホール

《記念講演》

異文化コミュニケーターで国土交通省社会資本整備審議会環境部会委員のマリ・クリスティーナさんによる「暮らしと街づくり」と題した講演



《パネルディスカッション》

小川市長や市民の皆さんをパネリストに、東海環状自動車道を活かしたまちづくりを考えます

▷定員/300人(先着順)

▷申込/はがきまたはFAXに、住所・氏名・電話番号を明記のうえ、管理課(〒503-8601 丸の内2-29、FAX81-3302)へ ※市HPの「申し込み・アンケート」からも申し込みできます

▷問合せ/管理課(内線612・613)へ

《ハイウェイウォーキング》

開通前の真新しい高速道路で、大垣西インターチェンジから東海道新幹線北までの往復約5kmのウォーキングを行います

《ステージイベント・朝市》

大垣市マスコットキャラクター「おがっき」や東海環状自動車道の沿線市町の「ゆるキャラ」が大集合。また、保育園児たちによる太鼓の演奏などのほか、沿線市町の新鮮野菜の即売会も行われます



▷ウォーキングの申込/7月15日から8月3日(消印有効)までに、往復はがきに、代表者の郵便番号・住所・氏名・電話番号、参加者全員(5人まで)の住所・氏名、会場への交通手段を明記のうえ、東海環状推進室(〒503-8601 丸の内2-29)へ ※市HPの「申し込み・アンケート」からも申し込みできます

▷問合せ/東海環状推進室(内線644・645)へ

第2回市議会定例会が閉会

補正予算など 原案どおり可決

第2回市議会定例会が、6月4日から15日まで開かれました。

11日には、10人の議員から、市政全般についての一般質問が行われました。

最終日の15日の本会議では、各担当委員会に付託されていた9議案について委員長報告の後、原案どおり可決しました。

続いて、議員提案による「原子力発電所の再稼働における安全性の確保を求める意見書」「再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書」が追加上程されました。ただちに採決が行われ、原案どおり可決し、閉会しました。

今議会で可決された主な議案は、次のとおりです。

- ▷一般会計補正予算
- ▷駅前広場等管理条例の制定
- ▷請負契約の締結(小中学校耐震改修工事6件)
- ▷市道路線の認定

電子図書館を開設

<http://dnp-cms.d-library.jp/ocpl>

7/1から サービス開始

大垣市立図書館は、インターネットを活用した新たなサービス「大垣市電子図書館」を、7月1日から始めます。

このサービスは、パソコンで電子図書館のサイトにアクセスし、読みたい電子書籍を、専用のリーダーを介して閲覧するインターネット上のバーチャル図書館です。

いつでも、どこでも、電子書籍の提供が可能になり、図書館から遠方の人や開館時間中の利用が困難であった人などにとっては、大変便利なサービスとなります。

また、破損防止のため、これまで貸し出しできなかった郷土資料なども、今後、電子書籍化することで閲覧可能となり、郷土研究やふるさと学習に役立てることができます。

7月1日からは、平成版「大垣市史」や飯沼慾斎著「草木図説稿本」など34タイトルが閲覧可能。今年度中に、82タイトルを電子書籍化する予定で、今後もコンテンツの拡充を図っていきます。



＜利用方法＞

- ①「大垣市電子図書館」サイトから、専用リーダー(閲覧ソフト)を、ご自身のパソコンにダウンロード【初回のみ】
- ②ログイン画面(トップページ左上)に図書館の利用カードの番号とパスワードを入力
- ③資料検索して、読みたい電子書籍を選択し、「貸出」ボタンをクリック
※最大10冊までの貸し出しが可能です
※閲覧期間は15日間、期間中はいつでも何度でも閲覧できます
- ④返却は、貸出時の画面で、「返却」ボタンをクリックすれば完了
※閲覧期間後は自動的に返却されます
詳しくは、大垣市立図書館(☎78-2622)でお尋ねください。